

下記のとおり報告します。

令和6年度 原村子ども・子育て会議 議事録

【記入者】原村教育委員会 子ども課 小池悠斗

会議の名称	令和6年度 第1回 原村子ども・子育て会議		
開催日時	令和6年4月15日 午後19:00時～午後20時45分		
開催場所	原村中央公民館 講堂		
出席者	五味康剛会長、戸谷佐知子副会長、東山真理子委員、篠原あずさ委員、膳師弘育委員、藤森洋一委員、中村勝子委員、橘田美千代委員、堀内やえみ委員、兵頭章江委員、牛山貴広村長、古清水巖教育長、百瀬則夫子ども課長、伊藤宏文保健福祉課長、五味武彦生涯学習課長、宮坂隆生涯学習係長、浦野富江健康づくり係長、中島美帆福祉係長、清水宏江保育園長、野澤愛子教育総務係長、日達理奈子育て支援係長、子育て支援係 小池悠斗		
欠席者			
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	傍聴1名、報道2社
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
百瀬子ども課長	1. 開会 R6年度第1回原村子ども子育て会議を開催いたします。		
牛山村長	2. 挨拶 本日、協議事項は2点、(1)第3期原村子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査及び計画策定について(2)八ヶ岳風の子保育園の計画についてお願いします。		
	3. 委嘱状交付 4. 自己紹介		
	5. 協議事項		
日達係長	(1)第3期原村子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査及び計画策定について 資料1 【資料1参考】工程表中、子ども子育て支援事業計画ですが、R6年度までが第2期となり、R7年度からは第3期の計画となります。第3期の計画を進めていくために、今年度はニーズ調査と計画策定を行います。 スケジュールとしては【資料1参考】工程表となります。 表中「会議」の項目は子ども・子育て会議を開催する月となります。今年度は計画策定のため、会議の回数が多い年となります。日程が前後することもあります。決まり次第、皆さんにご協力いただきます。今回のニーズ調査と計画策定につきましては、(株)丸建様に支援をいただきながら進めていくものになります。 ここからニーズ調査と計画策定については(株)丸建の清水様さんに説明をお願いします。		
丸建 清水	【資料1参考】工程表中、3番目までお話しさせていただきます。 アンケートの項目は多すぎても少なすぎてもいけない。ちょうどよい塩梅を大		

学准教授に相談しながら進めています。

資料◆ニーズ調査項目案(国の「調査のイメージ」と前回調査との比較)の調査項目のうち、背景オレンジが回答必須項目となります。あとは、前回のニーズ調査の質問プラスまた新たに聞かなければいけない質問等がありますので、調査項目に入れてあります。

資料：原村子ども・子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童用)については、国の調査のイメージはないので、前回の調査に基づいて作成し、今回追加されてニーズ調査に必要なと思う項目を加えました。

この調査は4月24日～25日に小学校を通じて全家庭に配布する予定です。保育園や幼稚園にも協力を得る予定です。未就園児については郵送し、27日にはみなさんに行き渡るようにする予定です。

基本的に回答方式はQRコードです。インターネット環境がないなど、QRコードで回答できない場合は紙で子育て支援係に提出いただく形をとります。回収した後、分析を行い、5月中旬頃にまとめ、報告書を作成をする予定です。

国からは4月の初めに5月中旬に報告するよう通知があったため、急いで行いたいと思っております。ただ、5月の中旬には間に合わない想定されますので、ご迷惑をおかけしますがよろしく願いいたします。

以上です。

五味会長

協議事項について、ご質問ご意見いかがでしょうか。

委員A

◆ニーズ調査項目案中の「家庭の様子、暮らしについて」国の調査表のイメージにもないし、前回のニーズ調査にも載ってないのですが、今回それを入れた意図は何ですか。

丸建 清水

国から市町村独自で作成する質問項目に、貧困の項目が追加されました。質問の内容自体がナイーブなので、他自治体を参考に作成しました。

委員B

いくつか、協議していただきたいと思います。

ニーズ調査の匿名性について。これを分析して統計にするのは丸建さんですか。原村の職員は入ってらっしゃらないですか？個人情報が含まれ、村の中で特定されてしまう可能性があります。匿名性が保証されないと答えづらい。例えば、地区を記入する項目がありますが、地区まで記入すると、ある程度わかってしまうのではないかと思います。その辺を協議していただきたい。

資料：原村子ども・子育て支援に関するニーズ調査 P8 「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」との表現があるが、「実現できる見込みはない」は書く必要があるのか教えていただきたいと思いました。「希望がない」との表現ではいけないのかと思いました。

五味会長

まず、ニーズ調査の匿名性についてご意見をいただきたいと思います。

委員A

アンケートを見るのは誰になるのか確認させていただきたいのですが。

日達子育て支援係長	<p>アンケート結果を見るのは丸建さんと子育て支援係になります。</p> <p>「〇〇地区の〇〇さんが〇〇の回答をした」というアンケート結果の取り扱いをする想定はしておりません。地区の調査については、国の求めているニーズ調査の量の見込みについて必要かどうかというところで判断していくことになるかと思えます。</p>
丸建 清水	<p>国の方針としては、地区まで聞くことになっております。国の示す調査票のイメージにも地区まで聞くことになっており、前回の村のニーズ調査で地区まで聞いておりました。そのため、必要だと思っております。個人情報保護の契約を結んでおりますので、他に漏れることはないかと思っております。</p>
五味会長	<p>国でイメージする「地区」は原村でいう地区という範囲なのか、もっと大きな意味での地区なのか、気になるところだと思います。国で「地区」という表現が使われているから原村でいう地区を調査項目に入れなければならないという一概にはそのような判断にはならないと思います。国でいう地区はどの範囲のことをいうのか確認は必要になるだろうと。</p> <p>原村の地区はかなり狭まった地区になるので、地区と年齢さえわかれば特定されてしまうだろうと心配されていると思います。</p> <p>重要なポイントとすれば、集計する際に個人が特定されない方法で業者さんが集計するのか、その辺がみなさん確認しておきたいことなのではないかと思えます。</p>
委員C	<p>例えば茅野市でいうと「米沢」「玉川」など小学校単位の地区ではないのでしょうか。書く側の気持ちとして、「判之木」など書きづらい。就学前に2～3人しかいない中で、たとえ集計上で匿名性が保持されたとしても「収入がどう」など書きづらい。あまり心証が良くない。</p>
委員A	<p>ニーズ調査の内容を見ると、原村の情報が必要なだけで原村の中の「地区」は必要がないのではないかと感じました。</p>
丸建 清水	<p>ニーズの量の見込みの時に、そこまで必要ではないかと思えますので「北三区」など大まかな地区のくくりでいけるのかどうか検討します。</p> <p>必要であれば報告させていただきます。</p>
五味会長	<p>地区についてはそのような方向で、最終決定をしていただいて、またご報告していただく形になるかと思えますけど、よろしいでしょうか。(意義なし)</p>
委員B	<p>【資料1】就学後児童アンケート調査(サンプル)中に「フルタイム…実現できる希望がない」表現方法に違和感があります。「希望してもできるかどうかわからない。」といったところではないでしょうか。</p> <p>この表現でいくと○か×かの選択になる気はしますが。</p>

委員A	<p>「予定はないか」くらいの表現になると「見込み」との表現よりやわらかい感じがします。</p>
五味会長	<p>事務局の方でうまく考えられますかね。</p>
丸建 清水	<p>国の聞く質問なので、そのまま書いてしまったのですが、この質問に限らず、「どっちなんだろう」と悩むものもあります。わかりやすく変えられる部分は変えていきます。</p>
五味会長	<p>国のニーズ調査を受け、それを報告する義務もあるので全く内容が異なる表現に変える事はできないとしても、もし参考にするのであれば他の自治体の事例を参考にするのは一つの手段。</p>
委員A	<p>ただ国の例として出しているのであれば、同じ条件のもとで調査するという観点からのデータが取れると思います。</p>
丸建 清水	<p>必ず聞かなければならない項目は、国のものそのままの方が良いと思います。自治体独自の質問に関しては、こちらの方で作成したので、そういっていただけると助かるのですが、会長がおっしゃったように、他の自治体に変更しているのかどうかも含めて見直します。</p>
五味会長	<p>国のニーズ調査として報告が求められている部分に関しては、同じ表現を使って調査をする。その他については他行政機関を見て、変更が可能であれば原村にあった表現にするのもひとつだと思いますので、ご検討いただきたいと思います。そのような形でよろしいでしょうか。（異議なし）</p>
委員B	<p>国の質問だということは初めて聞きました。村のニーズ調査だと思っていたので、調査書を見て感じたことはいろいろ違ってくると感じました。</p> <p>例えば【資料1】就学前児童アンケート調査（サンプル）P23 設問30 「ご自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか」の項目について保育園、幼稚園、学童の職員の方が地域や社会の大事な財産です。そこで働く方々が子育ての応援になるかと思うので、質問の項目には入っていないのが不思議に感じます。これは、国の質問項目に入っていないからなのか、地域の人が社会に入っていないからなのかいろいろ思いました。学校や保育園等などの職員も入れた方が良いのかなと思いました。</p>
委員A	<p>社会へのつながりの場としては、保育園であったり学校というのは子育てを支えてもらっている対象として入れてもいいのかと思いました。これは独自調査ですもんね。</p>
丸建 清水	<p>追加させていただきたいと思います。</p>
委員D	<p>これだけのニーズ調査になると、熟読して答えるのかは疑問です。そのために</p>

「その他」があるわけで、あまり項目が多くなりすぎても答える方としては大変なものではないかと思えます。

五味会長

大切な視点であると思えます。(学校の教員や、幼稚園や保育園の職員は)子どもが濃厚にかかわる一人であると思うので、その辺も含めて考えていただければと思います。

委員 B

【資料 1】就学前児童アンケート調査 (サンプル) P22 問 36「村役場などに対してあなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか」の選択肢の中に「1 屋外の施設を整備する」との項目があります。それに関する内容です。

私が普段思っていることは、自然体験ができる場所とそれを支援して一緒に遊んでくれる大人が必要ではないかと思えます。例えば、世田谷ではファミリープレイパークや川崎の夢パークがあります。是非自然で遊べる場所を作っていただきたいと思えます。

自分が経験したことがないと、これらのことはわからないので、選択肢の中に具体例を入れてはどうかと思えます。

委員 E

私は例を出すことは反対です。例を出すことによって、回答が左右されてしまうと思えます。「そういうのあるんだったら…」と引っ張られてしまいます。アンケートはできるだけ、標準化することが重要で、国で求められているものがあれば、できる限り同じ方が良くと思えます。文章の語尾を変えるだけで、回答が振れたりしますので。それを入れたい方は、「その他」の自由記入欄に記入すれば良いと思えます。

前提を確認させてください。この調査は国のアンケートを参考に村でやっていくのか、村オリジナルでやっていくのか。国に報告義務があるということはおそらく前者だと考えるに、語尾であっても変えるべきではないと思えます。そうしないと単純に国との比較ができなくなってしまう。

五味会長

関連した質問はありますか。

牛山村長

確認ですが、「5 月の中旬に間に合わない」とおっしゃっていましたが、国へ提出しないのですか。来年提出するのですか。

丸建 清水

遅れて出すことになります。原村に限らず、調査をこれから行う自治体も多くあります。昨年調査を終えた自治体もありますが、その後に「貧困」に関する調査が追加されたので、おそらく 5 月中旬までに提出できない自治体はたくさんあると思えます。

日達子育て支援係長

国の方で調査の指針が出るのがかなり遅れていました。先日県から、「5 月の中旬までに報告を求められているが、実際の回答はいつ頃になるか」という調査がありました。おそらく、その期間に出せない市町村が多く、国や県の対応が後ろにずれ込む見込みではあります。

丸建 清水	<p>国のニーズ調査でありますので、国の方で出されたものはできるだけそのまま使いたい。先ほど(橘田委員に)お話しいただいた原村独自に必要な項目の中で、「質問項目に保育園の先生が入っていない」というのはわかります。それについては検討させていただきます。</p>
五味会長	<p>この調査結果は国へ報告し、国との比較を含めて村の方でも分析した結果、計画に盛り込むという考え方で良いですか。</p>
丸建 清水	<p>はい。</p>
委員 E	<p>そのような意図であれば、なるべく国の調査はいじらない方が良いと思います。やるのであれば無くす。例えば地区を無くす。</p>
五味会長	<p>国の調査は、全国的な傾向をつかむものなので、基本的にはそれに準じて作成し、調査していただき、村として必要であれば追加項目でやるというのが一般的なのではないかと思います。</p>
委員 E	<p>個別のところは、フリー回答で書いていただければ。</p>
五味会長	<p>項目に対するプラスアルファであったり、「ニュアンスが違う」といったご意見は書きやすい形で「その他」の項目にフリーで記入していただく。 基本的には国の調査。村の独自調査は前からの調査を踏襲している村独自の調査については、前回のものを踏襲した内容との理解でよろしいでしょうか。比較するには同じ質問でなければならいというか。基本的には(村の独自調査も)前回と同じ内容にさせていただいて、社会が変化する中で必要な項目はその時その時に対応していただければ。</p>
委員 B	<p>【資料 1】就学後児童アンケート調査 (サンプル) P20 生活保護の項目は国のものですか。</p>
丸建 清水	<p>国の貧困に関する調査項目があります。国の案が示されていなかったため。他の市町村を参考に作成しました。</p>
委員 B	<p>生活保護の説明に「他に方法がないときに一定の援助がないときに一定の援助が受けられる制度」とあるのが気になります。 生活保護制度で問題になっている点として、申請の際、家族等に生活保護を受給する旨の連絡が行くことで、申請をためられる方がいることが問題となっています。 「他に方法がないときに」という表現した場合「他に方法があるのではないかと」の追及があるのではないかと認識される問題があると思います。この表現は国のほうでこのように示されたのでしょうか。</p>

丸建 清水	この表現は適切か確認したいと思います。修正できるかどうか確認させていただきます。
委員 A	これは国からの要請がある中で、国からのひな型がないということによろしいですか。
丸建 清水	はい。他の市町村のものを参考にしながら作成させていただきました。
五味会長	この質問項目については、国のものが示されたら対応していくということをお願いします。その他にありますか。
委員 E	アンケートはサンプル数が重要だと思います。回答率が低かった場合、リマインドなどする予定はあるのか、回答数が少なくてもそのまま集計するのかどちらですか。
丸建 清水	今までですと、回答率が高かったので想定していませんでした。ただ、答えていただけるようにアナウンスして行きたいと思います。
委員 E	例えば、対象者数が 200 人に対し、回答が 10 人だった場合、その中で「ニーズがあった」といっても回答数が少なすぎるという話になる。今までは、回答数が多かったのは、それはそれでよかったとして、事務局の方で回答数〇%などある程度基準を作っていたら、それを下回った場合は何かアクションを起こすという対応をしていただきたいと思います。
丸建 清水	今までは選ばれた方に調査を依頼していましたが、今回は小学校 6 年生以下全員に調査を依頼する予定です。
委員 E	アンケートは義務でなければ、やらない方も多いと思います。なので、回答が少なかった時の想定をしていただければと思います。
丸建 清水	わかりました。
委員 A	就学後のお子さんに関しては、学校経由で配るとのことですか。
丸建 清水	はい。
委員 E	国の報告については、回答する数が少なくても、再調査を行うまでの余裕がないんでしょうね。村の計画を立てるにあたっては、回答数があまりに少なければ状況に応じて対応していただければと思います。
委員 F	世帯に子どもが 2 人いる場合、2 回回答しなければならないのですか。
丸建 清水	子どもが 3 人いた場合、3 回お願いしたいと思います。

委員C	小学生が3人いた場合も3回ですか。
丸建 清水	はい。
委員A	現実的に小学生が3人と考えた場合に、3回同じような回答するかと言われたら、私だったら正直なところしないかなと。
委員E	QRコードであれば、最初に「子ども〇人」という項目をつくり、共通の項目は一つの回答で〇倍にする。学年によって回答が変わる質問は枝分かれさせていく方法をとればそれほど難しくはないかと思います。
五味会長	QRコードにして、紙にしても基本は同じ内容にして、学年によって「例えば3年生以下の方はこちらを答えてください。」などするように、回答者に負担をかけることは重要だと思います。今後もこのような調査を行っていくとすると、「大変だから答えない」とイメージを持たれないことにすることが大切です。
丸建 清水	期限が迫ってきていますが、設計してみます。
委員E	一番の問題は、納期がギリギリなことだと思います。例えばですが、この会議の場で納期を超えたとしても会議としては構わないとすることはどうですか。
五味会長	確認ですが、調査項目が後から国から出されてくる中で、納期の調整は若干可能なのですか。
日達子育て支援係長	全体として計画策定までのスケジュールが決まっているので、その中で間に合うかどうかです。
五味会長	調査の内容としては、最後に意見が出たアンケートの複数回答の対応は、あるものを集約して学年や年齢で選択できるようにすることだと思うので、あまり負担に感じずに既存のものを使って5月7日に集約できるようにやってもらいたい。 この会議でスケジュールを決めるというよりは、事務方の方がスケジュールに関してはおわっていると思うので対応してもらいたい。そのような対応でよろしいですか。(異議なし)
委員C	今まで国の調査ということ知らなかった。保護者として答えた時に「変な質問」だと勝手に思っていた。回答者は国との比較や、ニーズ調査ということがわからないのではないかと思う。今回の会で「国との比較をするから変えない方がよい」と納得したところ。 子ども一人ひとり回答するということが何も書かれていないので、保護者は「誰がやればよいのかな」と思ってしまうところだと思うので、それもアンケート調査のところにに入れても良いと思いました。

五味会長

アンケート調査に趣旨説明は必要なことで、何のためにやるのか、どのようなどころに生かされるのかというところが明確になっていないと公的な機関の調査としては適切ではありません。今回は調査項目のみ資料を出されていますが、おそらくその前段のところで考えていると思うけれど是非入れておいてもらいたい。そのことで回答者も「そのようなことなら回答しましょう」と理解してもらえる。

(2) 八ヶ岳風の子保育園の計画について資料 2

【説明 資料②】 八ヶ岳風の子保育園の定員変更及び新園建設計画について

日達子育て
支援係長

現在の第 2 期原村子ども・子育て支援事業計画で、2 号認定の保育ニーズとしては令和 6 年度 173 名と見込んでおり、確保計画としては特定教育保育施設で確保が出来ているとなっています。公立の原村保育園の定員が 191 名なので、現在も十分ニーズを満たせる状況にある中ですが、八ヶ岳風の子保育園さんの計画があり、村としては、選択肢が増えるという部分で良いのではないかという見解です。詳細は八ヶ岳風の子保育園橋田園長の方からお願いします。

橋田園長

新設する理由は保護者の方が就学までの保育を希望されていることが一番大きな理由です。やはり職員も就学まで子ども達を見届けたいとの思いがあり、幼児保育を行う計画をしました。

急な話なのですが、来年の 4 月までに新園をつくりたいと計画しております。八ヶ岳の子保育園については、一時保育や学童保育など原村の子ども達に役に立つような施策を考えています。また子ども誰でも通園制度で利用できる施設のひとつとして考えております。子ども誰でも通園制度はこども家庭庁で計画されているもので、実施するためには一時保育と同様に原村からの委託が必要です。

現在の定員は 20 名ですが、来年は定員 40 名の小規模の保育園を考えています。建設の概略は資料 2 に掲載しておりますが、まだはっきりは決まっております。今日この場で承認いただけましたら、次に進みたいと思っています。

五味会長

今まで風の子保育園を利用していた未満児の保護者の希望があり、今回新設するということですか。現在 2 歳が 6 名、3 歳が 5 名在園しており、来年度令和 7 年の 3 歳以上の定員が 20 名となっていますが、差し引き 9 名は新たに受け入れられるということで良いですか。

橋田園長

希望があれば受け入れようと思っています。

五味会長

新園はどちらになるかと単純に疑問に思っていたのですが。

橋田園長

新園を作るための施設整備費は国の方から出ないため土地代を出すのが難しい。自分が住んでいる上里の場所をお貸ししようと考えています。

五味会長

親御さんにとって選択肢が増えることは良いことだと思います。風の子保育園の定員を 20 名に増やすことによって、原村保育園の影響はありますか。

日達子育て
支援係長

財政的なところでいうと、例えば原村保育園を利用する児童が一クラス分減り、委託する保育園のクラスが増えた場合は、原村保育園にかかる予算が減った分の委託料が増えることとなります。今の計画でいくと、原村の保育園の規模は変わらないと思います。村からの風の子保育園への補助は増えます。

五味会長

子ども達の選択を増やし、特性を持った子どもたちが個性を発揮できるような保育をやってもらえたらと思います。

この件について、承認いただける方は挙手をお願いします。

賛成多数で承認されました。協議事項は以上となります。

古清水教育
長

7 閉 会

子育てにおいては多くの方が関心を寄せております。みなさんのご協力や意見をいただきながら進めていければと思います。